

ELFスコアの日常臨床における有用性 ー 肝線維化評価から予後予測まで

浪崎 正

奈良県立医科大学 消化器・代謝内科/肝疾患相談センター 准教授

ELFスコアは、ヒアルロン酸、PIIINP、TIMP-1を用いて肝線維化を評価する非侵襲的バイオマーカーであり、MASLD診療ガイドライン2026に掲載された。MASLD、ウイルス性肝疾患、アルコール関連肝疾患など幅広い慢性肝疾患において線維化進展度を反映し、肝生検を補完する指標として活用されている。近年では、肝代償不全、肝細胞癌発症、生命予後との関連も報告されており、予後予測マーカーとしての有用性が注目されている。本講演では、ELFスコアの日常診療における位置づけについて、肝線維化評価から予後予測まで最新の知見を概説する。